

日本共産党

尾村としなり

# 現場に足を運び、声を聞いて みなさんの切実な願い実現へ全力

## 医師・看護師確保

### 医師確保は政治の責任

今日の医師不足の原因は、自民・公明政権が「医師が増えれば医療費が膨張する」と宣伝し、医師の養成を抑制してきたことにあります。また、鳩山内閣も地域医療支援事業を事業仕分けの俎上にのせ、ムダ削減の名目で予算をカットしました。

尾村県議は、2月議会で「医師確保に向けた政治の責任が問われている」と強調。石飛いくひさ氏とともに、厚生労働省に対し、医師確保を強く求めました。

### 看護師・介護職員の増員を

看護の日である5月12日、70人の看護職員が松江・テルサ前で「医師・看護師・介護職員を増やせ」のナースウェーブ行動を実施しました。



尾村県議は「看護師を増やし、安心・安全な医療を実現しよう」と連帯のあいさつを行いました。

## 農林漁業支援

### 口蹄疫問題で県に申し入れ

畜産農家の要望をもとに、口蹄疫問題で県に申し入れ。万全な防疫対策と経営支援を求めました。県内では、5月の家畜市場が中止・延期となり、畜産農家は不安を抱えています。



尾村県議は、経済的損失を受けた農家への補償や風評被害防止対策の徹底、相談体制の強化を強調しました。

### ウニ激減の原因究明を



鹿島町御津の中山谷の残土処理場が面する沿岸で、ウニの漁獲量が激減しています。

尾村県議は、地元の漁業者とともに、県に実態調査、原因究明を要求しました。

県は「漁獲物・漁場の実態調査をする」と答えました。

## くらし応援

### 県営住宅の住環境改善へ



県営比津が丘団地・赤い屋根自治会のみなさんと住環境の改善を求めて県に申し入れました。

団地のみなさんからの浴室シャワー・駐輪場設置の要望に対し、県は「早期に設置したい」と答えました。

### 意宇川、小倉川の河川調査

地元住民から改修要望が出されている意宇川(竹矢)、小倉川(持田)の河川調査を実施しました。

意宇川では西側の土手が浸食されており、小倉川では泥の堆積や護岸の崩壊がありました。

県は調査を約束し、住民と相談しながら改修する考えを示しました。



日本共産党島根県委員会  
ホームページのご案内

アドレス ; <http://jcp-shimane.jp/>

日本共産党島根県委員会

内容 石飛いくひさ活動紹介、ブログ、政策・活動、地方議員紹介など。



## 2010年度予算に ただ一人反対討論

尾村県議は、2010年度県予算について、ただ一人反対討論を行いました。討論の概要は、下記の通りです。

- ① 私立高校生への授業料減免予算が削減されている。県として、私学助成制度を拡充すべき。
- ② 国民健康保険料の未納者が1割を超えている。介護保険の利用料が耐えられず、サービスの抑制が起こっている。医療福祉の予算を充実すべき。
- ③ 県民合意のない大手前通り拡幅事業、需要予測を見誤った斐伊川水道事業など見直すことなく継続している。不要不急の事業には勇断をもってメスを入れるべき。

尾村県議と力を合わせがんばります



党県国民運動責任者  
石飛いくひさ



松江市議会議員  
かたよせ直行



松江市議会議員  
飯塚 てい子